

令和7年度「NQ Deep Tech Studio」概要



「NQ Deep Tech Studio」とは、NQを舞台に、ライフサイエンス分野のディープテックスタートアップを創出・育成する新プログラムです。

本プログラムでは、シーズを起点に臨床的価値のある製品・サービスの社会実装の実現に向けて、臨床現場観察によるニーズ確認、ソリューション開発、起業・資金調達に至るまでの計画策定等を一通貫でサポートするアントレプレナー型人材育成を中心に、連続的にディープテックスタートアップを創出・育成するコミュニティの形成と支援スキームの確立を行います。

■年間スケジュール

スケジュール												
	5月	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3月	
イベント	キックオフイベント 概要: ・プログラム説明 ・ゲスト講演 ・ネットワーキング	アイデア創出ワークショップ 概要: ・シーズ紹介 ・チーム結成 ・課題設定	海外エコシステムとの連携イベント 概要: ・海外のエコシステムやイノベーターとの交流機会	プロジェクトレビュー&中間報告 概要: ・進捗共有 ・フィードバック ・交流	ハンズオン技術セミナー 概要: ・最新技術の習得 ・専門家による実践支援	成果発表会 (DEMO DAY) 概要: ・プロジェクト成果を対外発信、次のステップへ						
事業化支援プログラム	PHASE 1 全3回 起業・経営基礎、薬事・知財、海外展開、ピッチスキルなど			PHASE 2 全5回 医療現場観察・インタビュー、ニーズの定義と評価、ノードクライテリア策定			PHASE 3 全10回 ソリューション検討、プロトタイプング、ビジネスモデル構築、ピッチ準備					
	コミュニティ形成:NQの場を活用&Slackなどによるコミュニケーション 大学・研究機関等からの有望シーズの探索・発掘・集積 / メンター・専門家・投資家・事業会社・CXO候補人材の巻き込み											

■NQ Deep Tech Studio 支援シーズ

令和7年度は、次の12シーズを支援しています。

プロジェクトタイトル	氏名
尿中バイオマーカーを用いたフレイル リスク評価	岡 卓也 (京都産業大学 神経代謝生物学教室 客員研究員)
がん予防薬の創出	林 美樹夫 氏 (関西医科大学 生理学講座 講師)
オペログ 外科医の経験を患者アウトカム 向上につなげるプラットフォーム	植木 秀登 氏 (神戸大学 医学部附属病院・泌尿器科 特命助教)
医療廃棄物を資源へと変える流通プラット フォームの構築	柳生 貴裕 氏 (奈良県立医科大学 口腔外科学講座 講師)
非観血的静脈圧測定法による下肢浮腫治療 改革	友枝 博 氏 (久留米大学 外科学講座 助教)
働くほどスタッフが健康になる病院設計	相山 佑樹 氏 (天理よろづ相談所病院 麻酔・集中治療部)
軟骨 scaffold による軟骨損傷治療の新たな 展望	廣田 宙自 氏 (大阪医科薬科大学 整形外科学教室 特命助教)
効果を高めた新規の間葉系間質細胞治療の 実現	黒田 隆 氏 (セルファクター株式会社取締役 CT0・ 前京都大学整形外科講師・医師)
健康寿命のリアルタイム評価	西 真宏 氏 (京都府立医科大学循環器内科)
高齢者の嚥下機能低下を早期に予測する スクリーニングシステムの開発	四谷 淳子 氏 (福井大学 看護学部 教授)
骨延長術における手術支援プラット フォームの開発	荒田 順 氏 (滋賀医科大学 形成外科 特任教授)
がん低侵襲治療の普及を目指した IVR 支援 ロボット	櫻井 淳 氏 (岡山大学病院 副病院長)

事業化支援プログラム

■PHASE1：Lectures on Basic Knowledge

医療機器開発やヘルスケアイノベーションに必要な基礎知識・概念・プロセスに関するセミナーを実施

NQ Deep Tech Studio | Phase1

DAY1 6/30(Mon)
未来医療を実現する共創

1. 未来医療の最前線
2. イノベーションを生む共創とエコシステム
3. バイオデザイン入門：ニーズドリブンのイノベーション手法
4. ピッチメソッド：人を動かす伝達技術

DAY2 7/11(Fri)
医療×ビジネスのリアル

1. スタートアップの実像と経営のリアリティ
2. 戦略的事業計画と資本政策の基本
3. 医療AIの本質と事業機会
4. SPARKで学ぶ実践的橋渡し研究のフレームワーク

DAY3 7/25(Fri)
社会実装に向けた戦略

1. 共感を生み出すナラティブアプローチ
2. 知財戦略とリスクマネジメント
3. 契約リテラシーとスタートアップ法務のTIPS
4. 薬事・規制対応の実務知識
5. グローバル事業展開と医療機器の実装ケース

【登壇者情報】

ODAY1 令和7年6月30日（月曜日）

	登壇内容	登壇者
1	未来医療の最前線	澤 芳樹 氏 (一般財団法人 未来医療推進機構 理事長)
2	イノベーションを生む共創とエコシステム	留目 真伸 氏 (SUNDRED 株式会社 代表取締役 CEO 兼 GM)
3	バイオデザイン入門：ニーズドリブンのイノベーション手法	八木 雅和 氏 (大阪大学 大学院医学系研究科 保健学専攻 未来医療学寄附講座 寄附講座准教授)
4	ピッチメソッド 人を動かす伝達技術	深田 昌則 氏 (SUNDRED 株式会社 EVP、CKO 兼 CVO)

ODAY2 令和7年7月11日（金曜日）

	登壇内容	登壇者
1	スタートアップの実像と経営のリアリティ	山本 晋也 氏（東北大学 スマート・エイジング学際重点研究センター 社会起業推進分野 特任教授）
2	戦略的事業計画と資本政策の基本	山元 崇大 氏（有限監査法人トーマツ 監査・保証事業本部 マネージャー）
3	医療 AI の本質と事業機会	高崎 洋介 氏（AI 科学者）
4	SPARK で学ぶ実践的橋渡し研究のフレームワーク	小柳 智義 氏（京都大学医学部附属病院 先端医療研究開発機構 ビジネスディベロップメント室 室長）

ODAY3 令和7年7月25日（金曜日）

	登壇内容	登壇者
1	共感を生み出すナラティブアプローチ	森澤 友和 氏（The DECK 株式会社 代表取締役 CEO）
2	知財戦略とリスクマネジメント	中川 美和 氏（独立行政法人工業所有権情報・研修館 近畿統括本部 知的財産エキスパート）
3	契約リテラシーとスタートアップ法務のTIPS	小川 聡 氏（TMI 総合法律事務所 弁護士）
4	薬事・規制対応の実務知識	独立行政法人医薬品医療機器総合機構（PMDA）
5	グローバル事業展開と医療機器の実装ケース	杉浦 康平 氏 （デンマーク王国大使館 投資部マネージャー）

〈Phase1 講義の様子〉



■Phase2 : On-site Observation & Needs Exploration

実際の医療現場の観察・インタビューを通じて解決すべき課題を明確化するプログラムを実施

第1回：講義・実習

- NQにおける医療現場観察の体験
- 現場観察手法：注意点確認・インタビューガイド作成
- ニーズの深掘り、ニードクライテリアの作成までの手法論講義

第2回：実習・現場観察

- 現場観察（大阪けいさつ病院）
- 観察記録の収集
- シーズに関連した現場観察による問題発見、ニーズの定義・深掘り

第3回：講義・実習

- 現場観察結果を整理・分析する
- 調査を実施、ニーズの深掘り・特定（ドラフト）

第4回：実習・現場観察

- ニーズに関する初期検証（適宜現場観察）
- 医療従事者へのインタビュー

第5回：講義・実習

- ニーズステートメント作成
「誰が、どのような状況で、どんな問題を抱えていて、どんな価値が必要か」を明確化
- ニードクライテリアの設定
臨床インパクト、市場性、技術的実現性、規制ハードル、収益性などの評価軸を定義
- 初期コンセプト生成

Nakanoshima
Qross
未来医療国際研究拠点



oim Osaka International Medical & Science Center
大阪けいさつ病院



○Biodesign の手法を用いたワークショップ（全5回）

「誰が」「どのような問題に困っているのか」「どのような価値を生み出すのか」を明確化するニードステートメントの作成を実施しました。さらに、既存解決策とのギャップ分析、ステークホルダー分析、市場分析などを行い、医療課題の構造を多角的に整理しながら事業仮説の構築に取り組みました。

【登壇者情報】

	登壇内容	登壇者
DAY1	現場観察手法 ニードクライテリア	原 陽介 氏（株式会社ライフトゥデイ） 八木 雅和 氏（大阪大学 大学院医学系研究科 保健学専攻 未来医療学寄附講座 寄附講座准教授）
DAY2	現場観察	大阪けいさつ病院 八木 雅和 氏（大阪大学 大学院医学系研究科 保健学専攻 未来医療学寄附講座 寄附講座准教授）
DAY3	ニーズの深掘り・特定	八木 雅和 氏（大阪大学 大学院医学系研究科 保健学専攻 未来医療学寄附講座 寄附講座准教授）
DAY4	医療従事者へのインタビュー	大阪けいさつ病院 八木 雅和 氏（大阪大学 大学院医学系研究科 保健学専攻 未来医療学寄附講座 寄附講座准教授）
DAY5	初期コンセプト生成	八木 雅和 氏（大阪大学 大学院医学系研究科 保健学専攻 未来医療学寄附講座 寄附講座准教授）

〈ワークショップの様子〉



○現場観察

8月20日、8月27日、9月8日、9月30日の4日程にわたり、大阪けいさつ病院での現場観察を実施しました。企業、研究者、医療従事者など多様なバックグラウンドを持つ参加者がチームを組み、医療現場の業務フローや課題を直接観察し、臨床現場に存在する潜在的なニーズを探索しました。

〈現場観察後のチームミーティングの様子〉



■Phase3 : Solution Development & Business Formation

ソリューションのコンセプト創出～プロトタイプ制作・事業計画の策定をメンターからの支援を受けながら実施

第1回：アイデアの発散

- 多様な視点からアイデアのブラッシュアップ

第2回：コンセプト選定

- コンセプト選定
- 臨床インパクト・実現可能性
コスト・規制・市場性 確認
- 特許調査

第3回：プロトタイプング

- スケッチ
- メンター・専門家フィードバック

第4回：プロトタイプング

- 試作（モックアップ）
- ユーザーヒアリング手法検討
- メンター・専門家フィードバック

第5回：プロトタイプング

- 試作改良
- ユーザーヒアリング
- メンター・専門家フィードバック

第6回：ビジネスモデル

- 国内法・規制の講義
- 調査（マーケット・競合・特許等）
- ビジネスモデル作成

第7回：ビジネスモデル

- 国外法・規制の講義
- VCによる投資視点の講義
- 調査（マーケット・競合・特許等）
- ビジネスモデルキャンパス作成
※海外展開も考慮

第8回：事業計画策定

- 資金調達（Grant含む）計画
- PoCの計画策定
- ピッチの手法

第9回：ピッチデッキ作成

- ピッチデッキ作成
- ピッチ演習
- メンターフィードバック

第10回：最終ピッチ・総括

- ピッチ演習
- デモ・試作紹介
- メンターフィードバック・講評

定期的なメンタリング・伴走支援
プロジェクトチームへの積極参加

多様なメンター・専門家・支援者



共同事業体が有するネットワーク
(国内/海外)



○医療現場のニーズをもとにした事業計画の構築（全10回）

Phase2 で特定した医療現場のニーズをもとにし、チームごとに、アイデア創出、コンセプト設計、プロトタイプング、ピッチ準備などを段階的に進めながら、ワークショップ形式で議論を重ね、医療課題を解決する具体的な事業計画を策定しました。

【登壇者情報】

	登壇内容	登壇者
DAY1 ～ DAY4	アイデアの発散 コンセプト選定 プロトタイピング	八木 雅和 氏（大阪大学 大学院医学系研究科 保健学専攻 未来医療学寄附講座 寄附講座准教授） 高橋 マナブ 氏（マナブデザイン株式会社）
DAY5	ビジネスモデル（特許調査）	中川 氏、坂本 氏（独立行政法人工業所有権情報・ 研修館 近畿統括本部）
DAY6	ビジネスモデル（薬事・保険収載）	内田 大輔 氏、八代 将登 氏（岡山大学）
DAY7	ビジネスモデル（ニーズ調査）	八木 雅和 氏（大阪大学 大学院医学系研究科 保健学専攻 未来医療学寄附講座 寄附講座准教授） 高橋 マナブ 氏（マナブデザイン株式会社）
DAY8	事業計画策定	秦 充洋 氏（株式会社 BD スプリントパートナーズ 代表取締役 CEO）
DAY9	ピッチデッキ作成	町田 来稀 氏（一般財団法人活育財団）
DAY10	ピッチ演習	八木 雅和 氏（大阪大学 大学院医学系研究科 保健学専攻 未来医療学寄附講座 寄附講座准教授）
	先輩起業家からのインプットトーク	篠倉 啓純 氏（VentEase 株式会社 代表取締役） 円城寺 隆治 氏 （株式会社 AFI テクノロジー 代表取締役）

〈Phase3 チームワークショップの様子〉



（参考）事業化支援プログラムの詳細（外部サイトへリンク） [NQ DEEP Tech Studio](#)

イベント

■キックオフイベント：令和7年6月6日(金曜日)

NQ Deep Tech Studioのキックオフとして、本プログラムについて全体像の説明を行うとともに、最前線で活躍する登壇者をお招きして未来医療とディープテックの交差点をテーマに対話いただき、ヘルスケアディープテックで社会実装を目指す際に必要な視座を高めました。(参加人数：159名)

登壇内容	登壇者
キーノートスピーチ	澤 芳樹 氏 (一般財団法人 未来医療推進機構 理事長)
パネルディスカッション 「未来医療とディープテックの交差点」	小林 茉莉 氏 (株式会社 Eudaimonix)
	小柳 智義 氏 (京都大学医学部附属病院 先端医療研究開発機構ビジネスディベロップメント室長 特定教授)
	山本 晋也 氏 (東北大学 スマート・エイジング学際重点研究センター 社会起業推進分野 特任教授)
	八木 雅和 氏 (大阪大学 大学院医学系研究科保健学専攻 未来医療学寄附講座 寄附講座準教授)
	モデレーター：宮川 潤 氏 (MIRACLE SCIENCE INNOVATION 株式会社 代表取締役 CEO)

■共創ワークショップ：令和7年7月30日(水曜日)

研究シーズを持つ研究者やスタートアップがピッチを行い、その内容をもとに参加者全員でアイデアを発展させる BioDesign の手法を用いたグループワークを実施。研究者、企業関係者、支援者など多様な参加者が混ざり合い、社会実装に向けた課題やビジネスモデルの可能性について活発な議論が行われました。(参加人数：86名)

登壇内容	登壇者
バイオデザイン事例紹介	谷口 達典 氏 (株式会社リモハブ 創業者・代表取締役 CEO)
Phase2 に向けたインプットトーク	八木 雅和 氏 (大阪大学 大学院医学系研究科保健学専攻 未来医療学寄附講座 寄附講座準教授)

■QROSSOVER & MASHUP：令和7年9月18日(月曜日)

ライフサイエンス分野のスタートアップのグローバル展開をテーマとした海外連携イベント「QROSSOVER & MASHUP」を開催しました。Asia Pacific、EU、Silicon Valley など世界のエコシステムに精通した専門家を招き、ディープテックスタートアップの海外展開戦略について議論が行われました。(参加人数：39名)

登壇内容	登壇者
インプットトーク 「ライフサイエンス分野のスタートアップ におけるグローバル展開」	Fredrik Nyberg 氏 (Medtech Innovator APAC CEO)
	杉浦 康平 氏 (デンマーク王国大使館)
	Jack Moorman 氏 (US-Japan Medtech Frontiers 共同創設者)

■NQ Deep Tech Studio Phase3 Kickoff：令和7年11月14日(金曜日)

本イベントでは、プログラム参加者による事業構想の中間発表とともに、先輩スタートアップをゲストに迎え、研究成果の事業化プロセスや資金調達、組織づくり、海外展開に至るまでのリアルな経験を共有いただきました。(参加人数：28名)

登壇内容	登壇者
先輩起業家からのインプットトーク	宮脇 一嘉 氏 (フィジオロガス・テクノロジーズ株式会社 代表取締役)
	石田 幸広 氏 (株式会社セカンドハート 代表取締役)

■NQ FUSION DAY：令和8年1月30日(金曜日)

医療AI、バイオマテリアル、ロボティクス、診断デバイスなど、異なる技術シーズを組み合わせる「シーズミックス」をテーマに、ディープテックの社会実装に向けた共創の可能性について議論が行われました。(参加人数：33名)

登壇内容	登壇者
クロストーク	柴藤 亮介 氏 (アカデミスト株式会社 代表取締役 CEO)
	萩原 麻理 氏 (アストラゼネカ株式会社 イノベーションパートナーシップ&i2.JP Community Manager)
	山田 仁一郎 氏 (京都大学 経営管理大学院 教授)
	モデレーター： 鳥居 佑輝 氏 (ピース株式会社代表取締役)

■NQ Deep Tech Studio DEMO DAY：令和8年3月16日(月曜日)

8か月間にわたるNQ Deep Tech Studio の最終成果発表会を開催しました。再生医療・がん治療・AI医療システムなど多様な領域から参加したチームが、約1年間の事業化検証の成果を発表しました。また、医療・ヘルスケア領域で事業化を成し遂げた先輩起業家たちによるトークセッションを実施しました。(参加人数：131名)

登壇内容	登壇者
キーノートスピーチ	澤 芳樹 氏 (一般財団法人 未来医療推進機構 理事長)
起業家トークセッション	島原 佑基 氏 (Bio Engineering Capital 株式会社 CEO)
	喜早 ほか 氏 (トレジエムバイオフーマ株式会社 代表取締役社長)
	円城寺 隆治 氏 (株式会社 AFI テクノロジー代表取締役社長)
	伊藤 敬佑 氏 (株式会社 nonat 代表取締役社長)
	モデレーター：八木 信宏 氏 (京都大学イノベーションキャピタル株式会社 執行役員)

【成果発表を実施したシーズ】

プロジェクトタイトル	氏名
尿中バイオマーカーを用いたフレイルリスク評価	岡 卓也 (京都産業大学 神経代謝生物学教室 客員研究員)
がん予防薬の創出	林 美樹夫 氏 (関西医科大学 生理学講座 講師)
オペログ 外科医の経験を患者アウトカム向上につなげるプラットフォーム	植木 秀登 氏 (神戸大学 医学部附属病院・泌尿器科 特命助教)
医療廃棄物を資源へと変える流通プラットフォームの構築	柳生 貴裕 氏 (奈良県立医科大学 口腔外科学講座 講師)
非観血的静脈圧測定法による下肢浮腫治療改革	友枝 博 氏 (久留米大学 外科学講座 助教)
働くほどスタッフが健康になる病院設計	相山 佑樹 氏 (天理よろづ相談所病院 麻酔・集中治療部)
軟骨 scaffold による軟骨損傷治療の新たな展望	廣田 宙自 氏 (大阪医科薬科大学 整形外科学教室 特命助教)

(参考) イベントの詳細 (外部サイトへリンク) [NQ DEEP Tech Studio](#)